

第 188 号 内容紹介

1 , 張鈞凱「政治家に扇動された台湾有事」

5 月 21 日に台湾中央研究院でおこなわれた日本 AALA 訪問団と台湾反戦グループの交流の内容が、台湾側の出席者の一人が運営する WS「風伝媒」で早速報じられた。

2 , S・エルナー「マドゥーロ政権への単純すぎる分析」

ベネズエラの現状をどうみるか。「新自由主義をすすめる権威主義」といった政権の評価は正しいのか。ベネズエラ在住の著名な政治学者が批判的な視点も欠かさない科学的な分析をおこなっている。

3 , S・イランペルマ「民衆運動とバンドン精神;スリランカの視点」

バンドン会議に先駆けたコロンボでの首脳会議。提唱したスリランカ首相は、空前の国民運動に直面していた。非同盟運動創始者たちのリーダーシップの背後にある民衆運動を忘れてはならない、と強調している。

4 , M・カーチス「イギリス帝国は滅びていない」

62 の植民地の独立を許した帝国は、いまもなおジブラルタルやキプロスなど 14 の海外領土を支配している。その政策や意識も変わらずに維持している。

5 , P/ディスパッチ「コルカタで左翼諸党の反戦デモ」

パキスタンとの軍事緊張が高まるなか、インドの西ベンガル州コルカタで反戦デモが行われ、戦争と国内での宗教的対立をあおるモディ政権を批判、地域の平和と調和を訴えた。

その他の記事は「AALA ニュース編集日記」で参照できます ([aala_news の編集日記](#))

[記 \(livedoo n a 愛用紹介 r.jp\)](#))

